

平成 22 年度第 3 回北海道ブロック協議会
第 4 回北海道代協理事会
議 事 録

平成 22 年 10 月 23 日(土)am9:00~12:00

於:帯広東急イン

出席者

本部常任理事	根城 秀峰		理事	梅基 伸男	札幌	理事	大橋 敏	函館
会長	山口 史朗	札幌	理事	見上 峰夫	札幌	理事	山吉 行雄	釧路
副会長	長尾 忠正	釧路	理事	伊藤 隆人	札幌	理事	大高 喜弘	釧路
副会長	羽山 和広	帯広	理事	佐々木彰夫	室蘭	理事	吉田 和彦	釧路
副会長	小谷田正彦	旭川	理事	寺田 賢	旭川	理事	酒井 惇	帯広
副会長	山崎 善仁	札幌	理事	坂本 信一	旭川	理事	山田 和樹	帯広
副会長	松浦 則雄	函館	理事	佐藤 聖	苫小牧	監事	木下 裕章	小樽
専務理事	赤山 登	札幌	理事	古宇田 渉	苫小牧	監事	本村 宏文	千歳
常務理事	富谷 則文	札幌	理事	多和 康司	千歳	教育委員長	富田 明久	苫小牧
理事	佐々木雅之	札幌	理事	小野 修	函館	事務局	藤田 和代	札幌
理事	町野 泰明	札幌	理事	伊藤 輝雄	函館			

(オブザーバー参加者 12名)

嶋田拓馬、金浜善孝、土井良治、黒澤修一、石岡憲義、佐藤文紀、通岩稔、阿部浩好、加茂覚介澤田憲孝、羽田武史、遠藤雅士、

司会 専務理事 赤山 登

1. 開会の辞(小谷田正彦)

2. 北海道代協会長挨拶(山口史朗)

- 1、帯広支部 30 周年記念行事への祝辞と御礼を述べる。
- 2、函館支部会計費消事故の報告・謝罪と今後の金銭管理体制強化を説明。

事故詳細は函館小野支部長が報告：8月23日に会計担当者榊谷氏が行方不明で費消事故の可能性がありとの連絡を担当保険会社より受け、代協会費管理につき調査したところ約174万円の費消が発覚した。その後、8月28日に本人の自殺死亡が確認された。9月1日遺族に対し費消額全額の賠償返済を申し入れ、確約を取る。支払いは3分割での返済で、現在1回目の50万円が返済されている状態。

- 3、議事への活発な議論をお願いしたい。

3. 日本代協常任理事挨拶(根城秀峰)

- 1、帯広支部 30 周年行事開催のご苦勞の勞いを述べる。
- 2、何点かの依頼事項は後の報告事項にてさせていただきます。

4. 倫理綱領の朗読(木下裕章)

5. 議長選出

議長には山崎副会長(札幌)が指名され、承認を得た。

6. 議事録署名人の選出

議事録作成者:富谷則文常務理事(札幌)、議事録署名人に梅基伸男(札幌)、伊藤隆人(札幌)各氏が指名され了承を得た。

7. 議 事

[I] 報告事項

(1) 日本代協理事会報告(根城秀峰)

- 1、5年ぶりに代協正会員実態調査を実施したが、回収率は47%に止まった。
- 2、国民年金基金加入推進のお願い。(来月11月にキャンペーンを実施)
- 3、募集人制度における認定保険代理士の損保協会との資格統一化について、来年3月までに明確化し4月よりは具体的活動に入れるよう日本代協としても現在動いている。
- 4、日本代協オリジナル商品への積極的な取組み依頼。(そうすることで、既存商品についての問題点等の議論が持ち上がり商品改善へもつながっていくと考える)
- 5、会員増強についての協力依頼。

(2) 全国ブロック長会議報告(山口史朗)

理事会報告と重なるものは省略。以下のものの概要を説明しながら、回覧をする。

- 1、週間東洋経済紙の荻野明廣会長インタビュー記事
- 2、アリアンツ社代理店賠償責任保険事故例資料
- 3、<新時代代理店経営 50の心得>

* 11月19日本部事務局員研修参加のため、事務局不在の確認をする。

(3) 日本代協委員会報告

(I) 企画環境委員会(吉田和彦)

- 1、代協正会員実態調査報告(会議資料P16)についての最終結果報告。
- 2、日代協企画商品公募の詳細説明。(会議資料P17,18)

(II) 組織委員会(伊藤輝雄)

- 1、国民年金基金6名加入および会員数日本代協目標516店の完達確認。

(III) 政治連盟(梅基伸男)

本会議終了後、払い込み用紙を配布いたしますので、昨年同様協力をお願いしたい。

(IV) 地球環境・社会貢献委員会(担当山本氏日代協会議出席のため欠席)

(V) 教育委員会 (山崎善仁)

- 1、募集人制度の統一推進状況は会議資料P 14に掲載。
- 2、認定保険代理士更新試験不合格者3名の追試験は9月22日事務局にて実施済。

(4) 支部活動報告

各支部の活動については会議資料参照 (特筆・変更点は以下のとおり)

- ・旭川支部—支部セミナー11月開催を1月へ延期
- ・小樽支部—11月26日幹事会、地震保険キャンペーン実施
- ・函館支部—11月17日の支部セミナーの内容は社労士による〈年金のもらい方〉
- ・釧路支部—10月16日実施の清掃ボランティア、親睦バーベキューには損保協会からも多数参加あり

(5) 各委員会活動報告

各委員会の活動については会議資料 (各委員会議事録) 参照

[II] 審議事項

(1) 今後の管理体制(富谷則文)

本件は富谷則文常務より会議資料P 31~34を基に説明あり (概要以下)

本部・支部金銭管理について・預金通帳と登録印鑑は別人保管とする。キャッシュカードは廃止する。会費の口座引落とし採用支部は適正な金額エントリーを支部長が確認する。直集支部は早期の集金・送金と集金状況の把握を支部長が随時しておく。現在この体制になっていない支部は即日実行していただきたい。

<大橋理事>が発言

支部長交代のつど通帳を作成しているが、再作成しなくてもよい方法はないものか?

<根城常任理事返答>支部を北海道代協下部組織での位置付けとし通帳作成をしておくのと支部長変更都度の作成はிரない筈です。

<山口会長>今年度については連結決算・体制の準備年度ですので、上記方式にて管理していただき、早急な時期に会費本部管理の体制につきましても準備を進めていきたいと考えております。

*議長採択をとり**承認可決**

(2) 会計処理統一フォーム(富谷則文)

本件は引続き富谷則文常務より説明あり。(概要以下)

支部長宛に統一フォームの予算・決算書を送付しておりますが、来年4月末いきなりの提出では作成、提出困難な支部が発生すると北海道代協の決算ができない状況に陥るので、1月にでも仮締め提出をお願いしたい。

<羽田帯広副支部長>が発言

仮締めの方はよいが、北海道代協の収益事業（DRP他）に対し二重課税とならないようにしているのですか？

<山口会長>が返答

北海道代協は事業収益ではなく、特別会費として処理する予定ですので、課税はされません。

*議長採択をとり**承認可決**

(3) 会員増強と国民年金基金（長尾忠正）

本件は伊藤組織委員長および長尾副会長より発表あり。前回の組織委員会で各支部の目標数の変更修正を行ないました。（会議資料P4）現在の会員数では北海道は組織率等からもまだまだ足りない。各支部一丸となって取り組めばできるはずです。

*議長が各支部長の意見を訊く。

- ・札幌支部長一第3回の理事会で決定した事項を変更するのは承認し難い。支部では目標数はすでに発表しているし、それに向って現在もがんばっている。特に修正の数が現実の数値ではない。支部長単独ではとても返答できないものだ。

- ・苫小牧、千歳、函館支部長一支部へ持ち帰り審議しなければこの場で即答は不可能。<羽田帯広副支部長>が発言。P6の退会報告の理由でメリットなし、経費節減、多忙、とあるが、それは代協に魅力がないと言い換えられる。会員・組織拡大の以前に代協は会員、消費者のために何ができているかということから真剣に取り組むべきだ。組織に魅力があれば会員は自動的に増えていく。

*議長が委員会での変更数値はあくまでも努力目標との捕らえ方での採択でよいかを長尾副会長へ確認。日本代協報告数字の変更決議は不可能と判断。

*議長採択をとり**承認可決**

(4) 代協オリジナル商品の公募(吉田和彦)

本件は吉田理事より説明あり。

日本代協報告事項で説明したとおりです。補足とし、完全商品の作成のみならず、たとえば既存損保商品の免責事項の担保等でもけっこうです。

*議長採択をとり**承認可決**

(5) 公開講座（富田教育委員長より説明）

11月5日開催の<次世代の代理店ビジネスモデル>の申込現在状況は85名です。

収容120名できますので、奮ってご参加ください。

<山口会長>よい講師とテーマ選択ですし120名は集めてください。

*議長採択をとり**承認可決**

(6) スケジュールの提出 (赤山登)

ホームページへのスケジュール掲載のため各委員会、支部の提出状況確認。

<山口会長>活動の最重点は委員会、支部活動に置きたいので、できるだけバッティングを避けるためにもお願いします。

*議長採択をとり**承認可決**

(7) その他 (赤山登)

◎顧問弁護士の件

北海道代協でも、現在札幌支部にて顧問弁護士委託をお願いしている札幌総合法律事務所(舛田雅彦氏)をお願いしたいが審議いただきたい。

<町野理事>具体的な報酬額はいくらですか。

<事務局>札幌支部と同額の年間10万円です。

<山吉理事>釧路では支部でお願いしている弁護士がいるが、地方での案件等も十分に対応してもらえるのが疑問。また、代理店が個別に委託している場合もあるのではないですか。

<山口会長>地方案件の具体的な対応方法を再度打合せしたいと思います。

*議長**継続審議**を決定

◎エアコン取付けの件

現在の本部事務所には扇風機があるのみで、幹事会やその他打合せにも頻繁に使用するし、何よりも藤田さんが劣悪な環境にあることは間違いない。クーラー本体10万円、取付工事11万円で見積り取得し、半分を札幌支部にての負担承認済ですが、北海道代協で半分負担してよいか。

*議長採択をとり**承認可決**

◎第14期保険大学校目標の件

<山崎副会長>14期の申込目標数ですが、北海道で35名、支部割当は今期と同数にて差し支えないか。

*議長採択をとり**承認可決**

8. 閉会の辞(羽山和広)

議事録作成者 富 谷 則 文

議事録署名人 梅 基 伸 男

議事録署名人 伊 藤 隆 人